

鉄道に乗って/ローカルな台湾に出会う旅

台北、東北角 編

山陽電車と台湾鐵路管理局(台鉄)のご縁から、山陽電車⇄台湾相互交流企画がスタート! エスコートでも、鉄道×現地での触れ合いを楽しむ「ローカルな台湾」を今号から3号にわたってご案内します。さあ、あなたも、列車に揺られて、素顔の台湾に出会う旅へ。

エスコート取材班が行ってきました!

撮影:林志浩

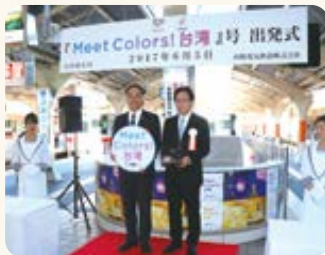
なぜ山陽電車と台鉄? ほんの小さなきっかけから協定締結へ

2014年1月、山陽電車の駅係員に入った連絡。それは、台湾から旅行に来ていたお客さまが、山陽電車内で携帯電話を落とされたというもの。この、お客さまと駅係員との触れ合いから、台湾の出先機関との交流が深まり「台日32同名駅観光プロモーション※」を知るきっかけに。山陽電車と台鉄は、双方に同名の「亀山駅」があることや、海沿いを走行する路線という共通点にちなんで姉妹鉄道協定を締結し、日本と台湾の観光交流を目指して新たな絆を結んだ。

※台湾・日本双方で32駅ある同名駅のPRを通じた観光促進キャンペーン



姉妹鉄道協定締結式



「Meet Colors! 台湾」号 出発式

記念ツアー受付中!

「Meet Colors! 台湾」号 運行記念 リラックスin台北 3・4日間

「Meet Colors! 台湾」号の運行を記念して、台北を楽しむ3つの個人旅行プランをご用意。台湾に癒しの旅に出かけよう。

旅行代金(お一人さま) 39,800円〜82,800円

(台北フリープラン・台北お気軽プラン) 3日間/エコノミークラス/2名1室利用/大人お一人さま旅行代金

プラン A 台北フリープラン B 台北お気軽プラン C 台北満喫プラン <3プラン共通>

出発地 関西国際空港 滞在都市 台北 利用航空会社 チャイナ エアライン

利用ホテル一例 六福客棧、康華大飯店、兄弟大飯店、王朝大飯店、凱撒大飯店など

■申し込み・問い合わせ/山陽バス株式会社 明石市東仲ノ町6-1 アスピア明石北館3F 078-915-7170(10:00〜18:00 12/29〜1/4、日・祝は除く)

※詳しくは、主要駅の駅置き/パンフレットをご覧ください 旅行企画実施/ニッカ航空サービス株式会社



取材班の旅メモ①

日本→台湾で取材班が利用したのは



台湾を代表する航空会社!

CHINA AIRLINESは台湾のナショナルフラッグキャリア。日本と台湾を結ぶフライトが豊富で、関西国際空港、羽田国際空港、成田国際空港、新千歳空港、中部国際空港、福岡空港をはじめ、静岡、富山、広島、高松、宮崎、熊本、鹿児島、沖縄からも就航。手頃価格ながら行き届いたホスピタリティで人気を呼んでいる。日本語が話せるスタッフも常駐しており、わからないことがあっても安心。

チャイナエアライン 検索

ディファジエ 迪化街



お土産探しは迪化街がおすすめ。台北最古の問屋街で、カラスミやツバメの巣、ドライフルーツなどの乾物はもちろん、かわいい民芸品や伝統柄の布小物、イマドキのおやつやリノベーションカフェまでなんでも揃う。景観保護区に指定されており、随所に100年以上前の建築が残されているので歩くだけでも楽しい。

台北市大同区迪化街 MRT「北門駅」3番出口 徒歩約10分(迪化街南端)



左から、迪化街で見つけた小籠包の醤油さし 1,400円、竹籠の小物入れ50円(写真は2点)、竹のコップ360円、竹の小皿100円。

関西国際空港から飛行機で約3時間。取材班は台湾桃園国際空港に降り立ち、MRT空港線に乗って台北駅へ。美食に街歩きに名所に、まずは台北市内を満喫。



グーゴンボウーユエン 故宮博物院

すべて見るには10年以上はかかると言われるほど膨大な数の収蔵品を誇る故宮博物院。中華歴代の至宝が目白押しで見ごたえたっぷり。常に人の輪ができて「翠玉白菜」、豚の角煮そっくりの「肉形石」をはじめ、至宝の数々に出会いに何度でも訪れたい。

台北市士林區至善路2段221號 02-2881-2021 入館料/350元(順益台湾原住民博物館との2館共通チケット320元) ※日本語音声ガイドは150元 8:30〜18:30(金・土は〜21:00) 年中無休 MRT「士林駅」よりバスで約12分「故宮」下車

☆合わせて行きたい シュンイータイワンジュンボウーグワン 順益台湾原住民博物館

故宮博物院の向かいにあるこちらの博物館では、台湾各地に住む原住民の「人と自然環境」「生活と道具」「服飾と文化」「信仰と祭礼」を4フロアに渡って展示。事前に申し込みば日本語ガイドも可。

台北市士林區至善路2段282號 02-2841-2611 入館料/150元(故宮博物院との2館共通チケット400元) ※日本語ガイドはメール(syjp2@sycc.com.tw)で要予約 9:00〜17:00 月曜定休、旧正月休 MRT「士林駅」よりバスで約12分「衛理女中」下車

ロンシャンスー 龍山寺



台北のパワースポットといえばここ。ご本尊の聖観世音菩薩のほか、受験の神、商人の神などの諸神も併せ祀り、地元の人を中心に毎日多数の参拝者が訪れる。特に縁結びの神「月老神君」の前にはいつも人だかりが。線香を頭に掛けて、台湾式にお参りしてみよう。

台北市萬華區広州街211號 02-2302-5162 6:00〜22:00 MRT「龍山寺駅」2番出口 徒歩約5分

ロンジャイ・チュウアントンドウファ 榮嘉義傳統豆花



台湾スイーツといえば、欠かせないのが豆花(ドウファ)。こちらのお店ではトッピングのほか、豆乳やお汁粉などシロップも色々選べる。写真はハトムギ、タピオカ、ピーナッツを加えて豆乳を入れたもので、35円とかなりのお値打ち。豆乳、豆花ともに濃厚で、プチプチタピオカとプルプル豆花の食感が癖になる。

台北市信義區永吉路30巷158弄2號 02-2742-5472 6:30〜21:00 日曜定休 MRT「市政府駅」4番出口 徒歩約6分

取材班の旅メモ②

空港→台北、台北市内のアクセスはMRTで



MRTとは、台湾の地下鉄・新交通システム。路線が充実しているので、台北市内はMRTが基本の移動手段。また、2017年3月よりMRT空港線が開通したため、桃園空港→台北間も、約35分(直通列車)とかなりスピーディーに。ぜひ使いこなして。



グァンジンファ 冠京華

地元でも評判のおいしさと、10個で140元といううれしいお手頃価格で、ひっきりなしにお客さんがやって来る冠京華。店先ではご主人やスタッフが忙しなく小籠包を包んでいる。現地の方いわく、小籠包は皮の端の方を少し噛んで中の肉汁を吸い出す食べ方がおすすだそう。やけどには注意してめいっばい味わおう。

台北市松山区南京東路4段133巷4弄1號 02-2712-3358 9:00〜14:30、17:00〜20:30 月曜定休 MRT「台北小巨蛋駅」5番出口 徒歩約5分



おみくじを引いて月老神君にいただく赤い糸(左)と、平安守り25元(右)。





\\ Northeast coast /

東北角エリア

スーフェン
十分



十分瀑布



ランタン飛ばし

スーフェン
ランタン飛ばしと十分瀑布

十分駅を降りた瞬間、目に飛び込んでくるのは色とりどりのランタン。両端にずらりと並ぶお店を訪ねて、ランタン飛ばしを体験しよう。体験料は店やオプションにもよるが、だいたい200円くらい。そこから奥へ奥へと進み、台湾のナイアガラと呼ばれる十分瀑布へ。滝の迫力を感じられる第4観瀑平台から観るのが取材班のおすすめ。

ランタン飛ばし:「十分駅」周辺一帯
十分瀑布:新北市平溪区南山乾坑路10號
「十分駅」北東 徒歩約20分



十分駅

新北市平溪区十分街74巷3號
0989-190-160
11:00~19:00 (土・日は10:00~19:00)
旧正月、大晦日休
「十分駅」南西 徒歩約2分



ロウザイツォウカフエインスー
樓仔厝咖啡民宿

駅の程近くにあり、帰りに足を休めがてらランチするのにぴったりの喫茶店兼民宿。炭鉱事務所をリニューアルしており、店の中には炭鉱時代に使用していた電話や事務用品などの貴重な展示も。写真のピープリートは170円、ドリンク140円。

フーロン
福隆



レンタサイクルの相場は電動300円、通常100円だが、断然電動がおすすめ。

ジツァオリンスエイダオ
舊草嶺隧道

福隆でぜひ楽しみたいのがサイクリング。福隆をぐるっと一周回るコースもあるが、体力に自信のない人には福隆駅から線路沿いに舊草嶺隧道を抜ける5kmのコースがイチオシ。舊草嶺隧道はかつての鉄道トンネルで、地面に描かれた線路の絵や道程の電車オブジェも楽しい。駅向かいのレンタサイクル屋さんで自転車を借りて出発しよう。

新北市貢寮区福隆里
「福隆駅」南東 徒歩約30分 (自転車推奨)

グエイシャ
龜山



龜山駅

山陽電車と台鉄の友好の証である龜山駅。台鉄「龜山駅」は海辺のゆったりとした空気が流れる、自然に囲まれた駅。取材時にはお迎えに来た観覧さんにもよく見かけ、地元の人々に愛されているのがわかる。山陽電車「龜山駅」は龜山御坊本徳寺の最寄り駅で、こちらのんびりとした駅。どこか似た雰囲気を感じる2つの龜山駅だ。



山陽電車「龜山駅」

トウチエン
頭城



ランヤンポウウーガ
蘭陽博物館

ユニークな建物も見どころの一つであるこの博物館は、路線名にもなっている「宜蘭」地域について、見て、触れて、知れる場所。昔の風景や、独自の祭りが再現模型と共に紹介されているフロア、漁場や船がその場に再現され、実際に登れるフロアなど、わかりやすい展示で好奇心が駆り立てられる。

宜蘭県頭城鎮青雲路3段750號
03-977-9700
入館料 / 100元 ※日本語音声ガイドは100元
9:00~17:00
水曜定休 (祝日の場合は開館)
「頭城駅」北 徒歩約20分



+バスで

\\ Jiufen /

九份

東北角エリアに来たら、九份は見逃さない。瑞芳駅からバスに乗り、台湾のお楽しみをぎゅっと詰めたような九份の街へ繰り出そう。



ジツフェンチャファン
九份茶坊

台湾茶を味わいたいなら九份茶坊へ。目の前で店員さんがじっくりお茶を淹れてくれる。すべてオリジナルという茶器も素敵。取材時にいただいたのは貴妃茶という烏龍茶で、ほんのり蜂蜜のような香りが。こちらは1両(37.5g)800円+お湯代(一人)100円。茶葉は600円~揃う。茶葉を使用したこだわりの茶菓子も豊富。



烏龍茶のチーズケーキ100円。ふわりと茶葉が香り、ほろりと口の中で溶けていく。

新北市瑞芳区基山街142號
02-2496-9056
10:30~21:00 無休
バス停「九份老街(舊道)」徒歩約10分

ユーザイファンシヤファン
芋仔蕃薯茶坊

秘密基地のような岩の洞窟を通して入る台湾家庭料理店。あれもこれも食べたくないので、みんなで頼んでシェアしよう。茹でイカに野菜が詰まった「小巻」(380円)は酸味がきいておりサラダ感覚でさっぱり食べられる。定番の炒飯、空芯菜炒め、豚の角煮はもちろん、切り干し大根の玉子焼き「菜脯炒蛋」(150円)が意外なヒット。



写真の料理で4人分くらい。余りは包んでもらい持って帰れるのも台湾ならでは。



新北市瑞芳区市下巷18號
02-2497-6314
10:00~お客さんがいないまで 無休
バス停「九份老街(舊道)」徒歩約10分

ライアーボウエー
賴阿婆芋圓

カラフルな芋団子が目を惹くこちらのお店。ゴマ、緑茶、タロイモ、山芋などを練り込んだ団子で、プルプルもちもちの食感がやみつきに。夏場は氷を入れて、冬場はぜんざいのようにいただける。1杯50円。



葱酥牛軋餅25個入250円

新北市瑞芳区基山街143號
02-2497-5245
8:00~20:00
無休
バス停「九份老街(舊道)」徒歩約5分

フツァンジンボウウーガ
黄金博物館

金瓜石の特徴である鉱山開発の歴史や金の採掘に関する展示と、様々な史跡が保存・公開されている博物館。実際に採掘が行われていた坑道に入ることができたり、本物の220kgの金塊に触れたり、他にはない貴重な体験が用意されている。黄金館では砂金採り体験も。体験活動は当日受付も可だが、予約が安心。facebookに日本語でOK。

新北市瑞芳区金瓜石金光路8號
02-2496-2800
入館料 / 80元 (坑道体験50元、砂金採り体験100元)
9:30~17:00 (土・日・祝は18:00まで)
毎月第一月曜休
バス停「金瓜石(黄金博物館)」徒歩すぐ
facebook「新北市立黄金博物館」検索

アヂュシエザイシャ
阿珠雪在燒

台湾風のクレープ。塩気のある生地で甘いアイスが引き立ち、ピーナッツ入り麦芽糖が食感のアクセントに。隠し味のバクチャーはふんわり香る程度だが、風味に奥行きを与えている。1個40円。

新北市瑞芳区基山街20號
02-2497-5258
9:00~19:00
無休
バス停「九份老街(舊道)」南 徒歩約3分



アーランツァオザイグツ
阿蘭草仔粿

店の奥で、草餅が次から次へとできあがっていく。中身はスタンダードなものから切り干し大根入りのものまでさまざま。どれも1つ15円なので、気になるものは全部買ってみたい。角切りタロイモが載った芋糰もおいしい。

新北市瑞芳区基山街90號
02-2496-7795
9:00~20:00
無休
バス停「九份老街(舊道)」徒歩約6分

ミシーディーエンティエンワングツ
米詩堤甜點王國

パイシューの中にサツマイモクリームが入った黄金泡芙、タロイモの食感残る芋頭泡芙(各50円)など、一味違うシュークリームやアイスが人気の当店。お土産には「意外にハマる」とプチブーム中のネギのヌガークラッカー「葱酥牛軋餅」をどうぞ。



葱酥牛軋餅25個入250円

新北市瑞芳区基山街29號
02-2456-0885
9:30~19:00 (金・土は~20:00)
無休
バス停「九份老街(舊道)」徒歩約2分



どこで降りようかな~

東北角一日券有効区間



取材班の旅メモ③

台湾の在来線



撮影:林志浩

台湾の在来線は台鉄と呼ばれ、台湾全土を一周している。また、十分駅のある平溪線のように、特色あるローカル線も走る。日本でいう新幹線は台湾高速鉄路で、南港駅(台北)から終点・左營駅(高雄)まで約1時間半で移動できる。



提供:台湾高鐵公司



▶ 2月号は基隆・宜蘭線を特集!お楽しみに!